

超音波噴霧器 MX-200

ACPS 2.0
Anti-Corrosion Protective System



日本国内100V専用

お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐ為の重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店または弊社サービス窓口
に修理をご依頼ください。

定期的に点検する



愛情点検

安全及び性能維持の為にも、お買い
上げ時とその後1年に一度は安全点
検を行ってください。

万一、異常がおきたら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店または弊社サービス窓口
に修理を依頼してください

もくじ

◎ 安全上のご注意	1	◎ 使いかた (操作方法)	7
◎ 警告	2	◎ お手入れと保管	8
◎ 使用上のお願い	3, 4	◎ 故障かな!?	9
◎ 各部の名前	5	◎ 仕様	10
◎ 使いかた (給水方法)	6	◎ 保証とアフターサービス	11

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に、必ずお読みください。

また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

* ここに示した注意事項は、噴霧器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

■誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分し説明しています。



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある内容」です。



注意

「傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある内容」です。

■お守りいただく内容を図記号で説明しています。（図の中に具体的な内容が描かれています）



「してはいけない」内容です。



「実行しなければならない」内容です。

警告



分解禁止

■改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。



水濡れ禁止

■水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

■幼児の手が届く範囲で使用しない

感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

■お手入れの際は、必ず差込プラグをコンセントから抜く

感電やけがの原因になります。



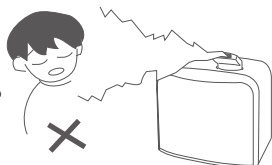
使用禁止

■本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない

霧化部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり、故障の原因になります。

■吹出口から噴霧される霧は吸入しない

健康を害する場合があります。

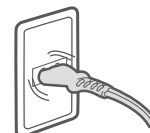


■電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねる、重いものを載せる、挟み込むなどをすると破損し、火災・感電の原因になります。

■電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



警告



禁止

■当社認定液体以外を使用しない

本機は当社が認定した液体でのみ使用可能です。認定液体以外を供給すると、液体によっては機器が壊れたり、人体、動物、植物、品物等に悪影響を及ぼす場合があります。最悪の場合は健康を害する場合がありますので、絶対におやめください。

【製品保証が受けられません】

■古くなった液体を使用しない

古くなった液体は十分な効果を得られない場合がありますので、使用しないでください。

■加湿器として使用しない

本機を水だけ(水道水、井戸水、市販の水など)で使用した場合、レジオネラ菌等の雑菌を噴霧する可能性があります。場合によっては死亡する可能性がありますので、絶対におやめください。

■吹出口や本体の隙間にピンや針金などの異物を入れない

感電やけがの原因になります。

■交流100V以外では使用しない

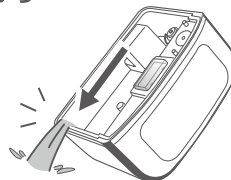
火災・感電の原因になります。



排水方向から

■排水方向から排水する

排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に液が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



排水時は必ず先に電源プラグを抜いてください



ぬれ水手禁止

■ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



プラグを抜く

■異常時(こげくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると、火災や感電の原因になります。運転を停止して、お買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。

注意



禁止

■液体タンクをはずして使用しない

液が飛び散って床をぬらしたり送風筒から液が入り、故障の原因になります。

■不安定な場所には置かない

液がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

■使用中は本体を持ち運ばない

液がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

■使用中や使用直後はお手入れをしない

けがややけどの原因になります。

■電気製品やパソコン、精密機器などがあるところでは使用しない

湿気や白粉の影響により、機器の故障を引き起こす場合があります。

■使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



プラグを持って抜く

■電源プラグを抜くときはコードを持たずに、必ずプラグ部を持って抜く

感電やショートして発火することがあります。



液体を入れ換える

■液体タンク内に残っている液体は、毎週新しく入れ換える

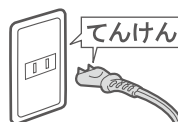
水槽部に残っている液体も、液の入れ換えの際捨ててください。また、水槽部や霧化部は1週間に1~2回以上はお手入れして常に清潔な状態でお使いください。



プラグの点検

■時々電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ホコリがたまり、湿気が加わることで電流が流れて火災の原因になることがあります。差込プラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。思わぬ事故を防ぐために、コンセントの周りにホコリをためないように時々掃除をする。差込プラグがしっかりと差し込まれているか、コンセントや電源プラグに異常がないか確かめる。



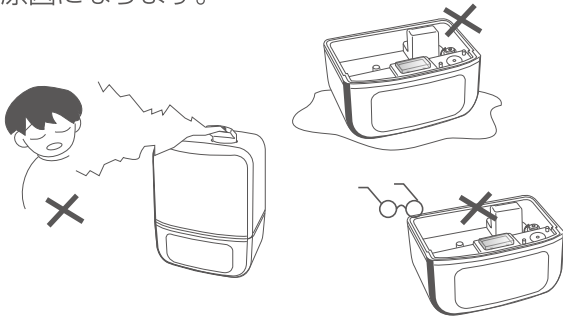
プラグを抜く

使用上のお願い

事故や故障などを防ぐために、必ずお守りください

■液体タンクをはずして使用したり、加湿器として使用しないでください

床をぬらしたり、故障やけがなどの原因になります。



■こんな時は移動させたり、持ち運んだりしないでください

- タンクを本体にセットした後。
- 本体水槽部に液体が入っている時
液体がこぼれて周囲をぬらしたり、機器の中に液体が入って故障の原因になります。

■霧化しすぎないでください

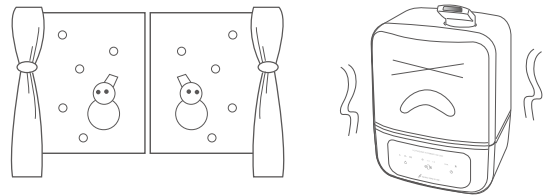
室内をぬらしたり故障の原因になります。

■本体内のお手入れをこまめに行ってください

水槽部や霧化部に液あかなどが付着したまま使い続けると、誤作動をしたり故障の原因になります。

■凍結に注意してください

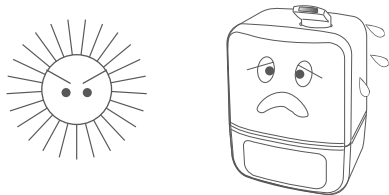
凍結の恐れがあるときは、タンクと本体水槽部の液体を捨ててください。
凍結すると故障の原因になります。



こんな場所では使用しないでください

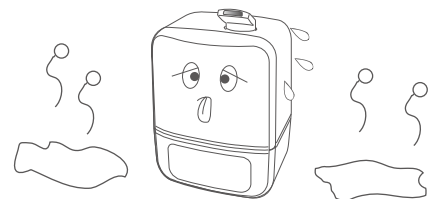
■直射日光が当たる場所や、暖房機の上または近く

水漏れ、変形、変色をしたり、誤動作をすることがあります。



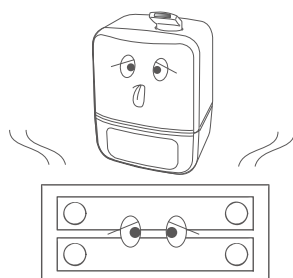
■湿度の高いところ

故障の原因になります。



■熱に弱い家具や床などの上

本体底面の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。



■カーペットや布団などの上

本体底面の吸気口がふさがれると、内部部品が発熱し、誤動作や故障の原因になります。



使用上のお願い

設置場所のご注意

本機は非常に大きな霧化能力があり、設置場所や設置方法によっては周辺の家財などに悪影響を及ぼすことがあります。
以下の設置場所に関するご注意をよくお読みになり、正しくご使用ください。

精密機器/電気製品のあるお部屋を使用するとき

■パソコンやテレビ、音響機器などの上に絶対に置かないでください。

- 万が一、液がこぼれたりした場合、機器の内部に液が入り、火災や感電、故障の原因になります。また、パソコンやテレビ、音響機器などからできるだけ離れた場所に設置して「吹出口から出る霧」が機器にかからないようにしてください。直接機器に霧がかかると、ぬれたり、霧に含まれる「白い粉(※本ページ下参照)」が内部に付着して故障の原因になることがあります。やむをえずこれらの近くに設置するときは、「吹出口」の向きや「霧化量」を調節して、霧が直接機器にかからないように十分注意してください。



家具やカーテンなどが近くにあるとき

■家具やカーテンなどからできるだけ離れた場所に設置して「吹出口から出る霧」が直接かからないようにしてください。

- 直接家具やカーテンに霧がかかると、変質・変色したり、カビや異臭の原因になることがあります。また、霧に含まれる「白い粉」が家具などの表面に付着することがあります。この「白い粉」は、通常ぬれたタオルなどでふき取れますが、一部の家具では、材質や表面の処理の関係でふき取りにくいことがありますのでご注意ください。(高価な家具があるお部屋でご使用の場合は特にご注意ください。)
やむをえずこれらの近くに設置するときは、「吹出口」の向きや「霧化量」を調節して、霧が直接家具などにかからないようにしてください。



その他で設置に際し、注意していただきたい場所

■霧が床や畳の上に直接設置する場合

- 発生量が多すぎると「吹出口から出る霧」で床や畳をぬらすことがあります。「霧化量調節スイッチ」で調節して、周辺がぬれないように十分注意してください。

■ふすまや障子、書物、ポスターなどの紙類や壁などの近く

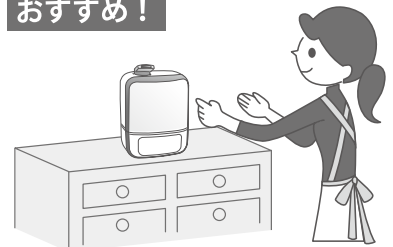
- 「吹出口から出る霧」が直接かかると、変色やしみの原因になることがあります。「吹出口」の向きや、「霧化量」を調節して、霧が直接かからないようにご注意ください。

※白い粉について

■本機は超音波によって液体を振動させて霧を発生させます。

この構造上、霧の蒸発に伴い、機器の周辺に「白い粉」が残ることがあります。この「白い粉」は、発生する霧の中(液体を水道水で希釈して使用する場合)に含まれる「カルシウム」や「マグネシウム」などのミネラル成分であり、人体には無害ですが、周辺の家財などに大量に付着すると、悪影響を及ぼす恐れがあります。

おすすめ!



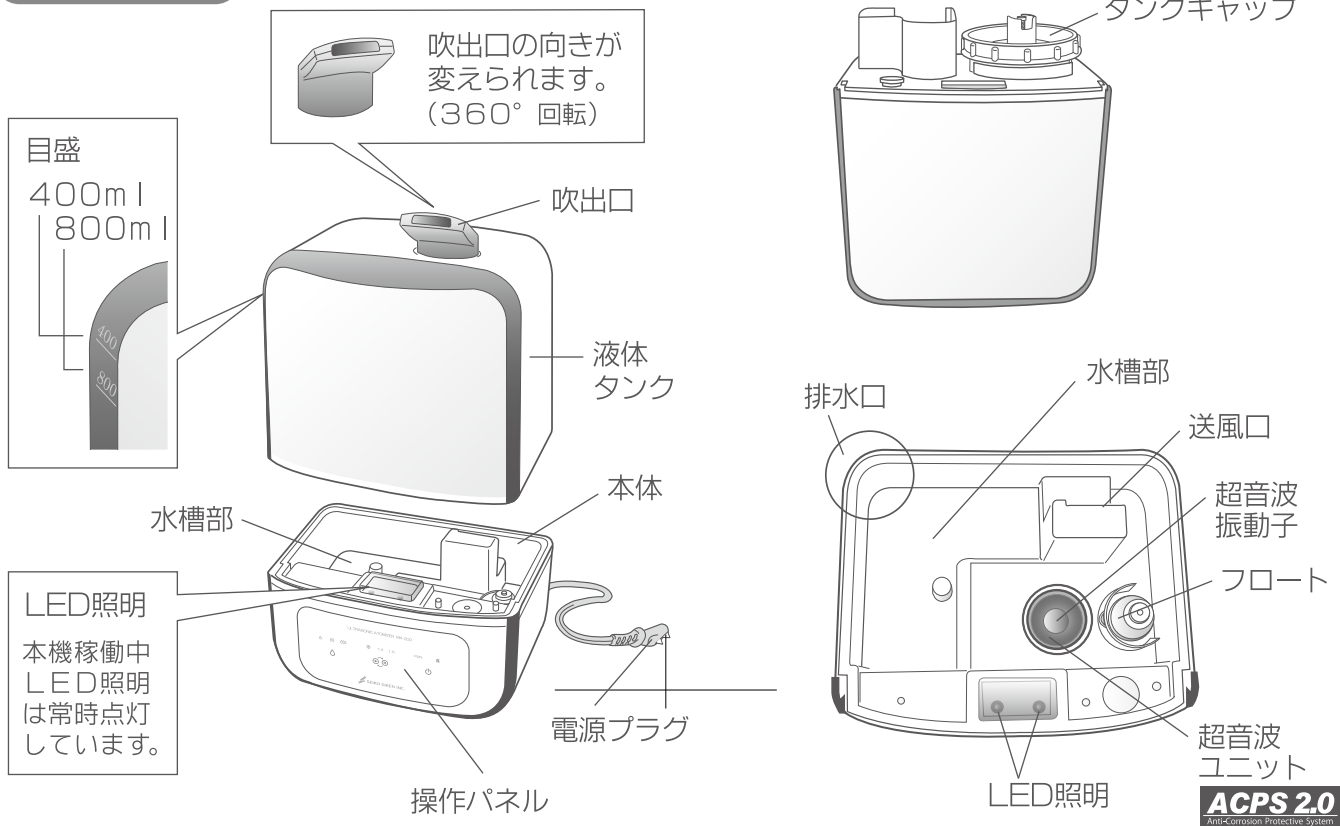
給水・お手入れをする方の
胸の高さ程度

★扇風機やサーキュレーターを使用し、霧を遠くに飛ばすと一層効果的です。

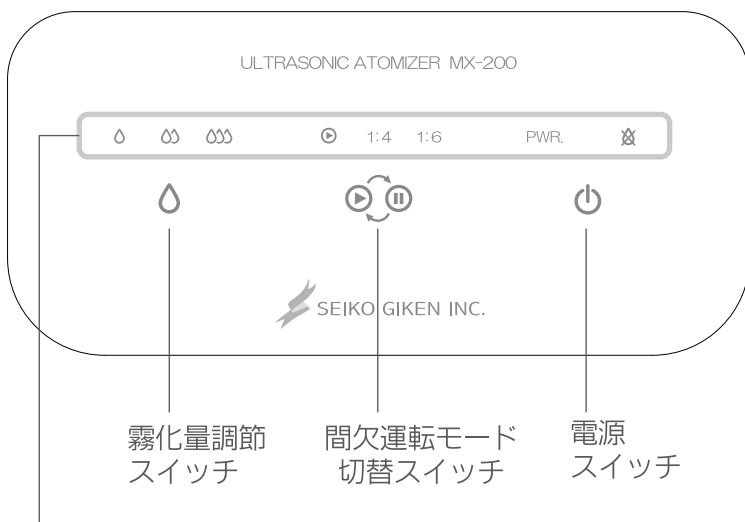
※本製品の故障または使用による家財等の損害については、弊社はその責を一切負いかねますので予めご了承ください。

各部の名前

本体/タンク



操作パネル タッチパネル式



■ランプ (選択されたモードのランプが点灯します)

霧化量ランプ (緑)		間欠運転モードランプ (緑)		電源・給水ランプ
☉	霧化量「小」	▶	連続運転	PWR. ☉
☪	霧化量「中」	1:4	間欠運転 1分噴霧 4分休止	PWR.と☉の間が点灯します 電源ON : 点灯 (青) 電源OFF : 消灯 給水表示 : 点滅 (赤)
☺	霧化量「大」	1:6	間欠運転 1分噴霧 6分休止	

超音波ユニット ACPS 2.0

腐食対策超音波ユニットを採用。

⚠ 超音波振動子は消耗品です

超音波振動子は、使用していると徐々に霧化量が減少していき、交換時期には初期値の半分以下になります。本機の能力を最高に保つためにも、超音波振動子の定期的な交換をおすすめいたします。

給水ランプが点滅

＜空炊き防止機能作動＞

- タンク内の液体がなくなったとき
- タンクがないとき
- タンクが正しくセットされていない

噴霧を自動で停止します。
ブザーがら回鳴り、給水ランプ (赤) が点滅します。



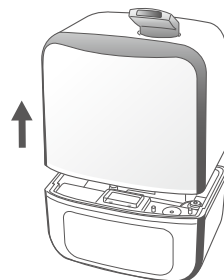
- 液体を補充する
 - タンクを正しくセットする
- 給水ランプ (赤) 点滅が (青) 点灯に変わり、噴霧を再開します。

使いかた【給水方法】

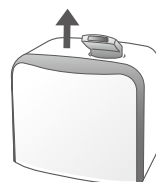
タンクに液体を入れる

1 本体から液体タンクをはずす

- 水槽に液が入っている時は液体タンクの下に付着した液体がこぼれることがあります。
タオルなどを敷いて周辺をぬらさないように注意してください。



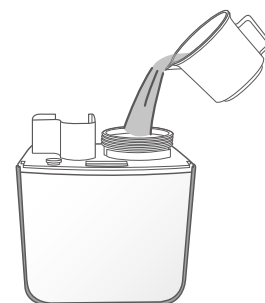
2 液体タンクから吹出口をはずす



3 タンクキャップをはずし、タンクに液体を入れる

満水で約4L入ります

- 液体の使用方法は液体の説明書をご覧ください。
- 本体や液体タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水（30℃以上）などを入れないでください。
- 当社認定以外の液体を入れないでください。
液体の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因になることがあります。また、指定外の液体は健康を害する恐れがあります。
- 液体タンクをぶついたり、落としたりしないでください。
液体タンクの破損により、水漏れの原因になります。
- 液体タンク内の液体は毎週交換して、常に清潔にご使用ください。



【次亜塩素酸水の液体濃度】

△ご注意 必ず液体タンクに給水してご使用ください

- 本体や吹出口に直接液体を入れないでください。
本体内部に液体が入り、故障の原因になることがあります。



希釈が必要な液体をご使用の場合は…

【液体投入順序】

- ①次亜塩素酸水(原液)
- ②水道水

※①②の順番でタンクに入れ、よく混ぜ合わせてください。

△使用濃度をお守りください

【濃度】 80ppm 以下
【pH】 5.5 ~ 7.5

使用濃度をお守りいただけない場合は、製品保証ができないばかりか、修理をお受けできない場合があります。必ず範囲内の濃度でご使用ください。



■当社認定液体以外を使用しない【製品保証が受けられません】

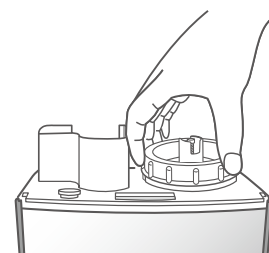
本機は当社が認定した液体でのみ使用可能です。認定液体以外を供給すると、液体によっては機器が壊れたり、人体、動物、植物、品物等に悪影響を及ぼす場合があります。最悪の場合は健康を害する場合がありますので、絶対におやめください。

4 タンクキャップをしっかり締める

- ゴムパッキンがタンクキャップに取り付いていることを確認してください。
また、キャップはしっかり締め付けてください。
ゴムパッキンが取り付けが弱かったり、キャップの締め付けが弱いとタンクに空気が混入して、水濡れの原因になることがあります。

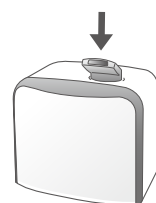


まっすぐにしめないと液体がこぼれます。



5 液体タンクを本体にセットし、吹出口を取り付ける




- 水槽に液体が入っている時は液体タンクの下に付着した液体がこぼれることがあります。
タオルなどを敷いて周辺をぬらさないように注意してください。



使いかた【操作方法】


運 転

1 運転を始める

- 電源プラグを差し込む。
- 「電源スイッチ【】」に触れると電源が入り、【】【】ランプとLED照明（青）が点灯し、噴霧が始まります。 ■初期状態は「大」です。



2 霧化量を調節する

- 「霧化量調節スイッチ【】」に触れるたびに霧化量が3段階で変化します。
- 設定している霧化量にランプ（緑）が点灯します。




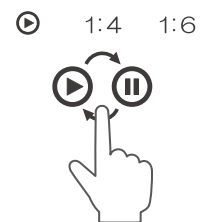
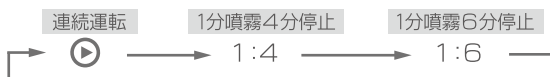
- 初期状態は「大」です。
- 風量の調節はできません。
- 霧化量は10ページをご覧ください。



霧化量は概ねの目安です。使用環境（室温・湿度・水温・水質・室内環境・電源電圧・製品個体差等の複合要素）によっては数値が大幅に変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

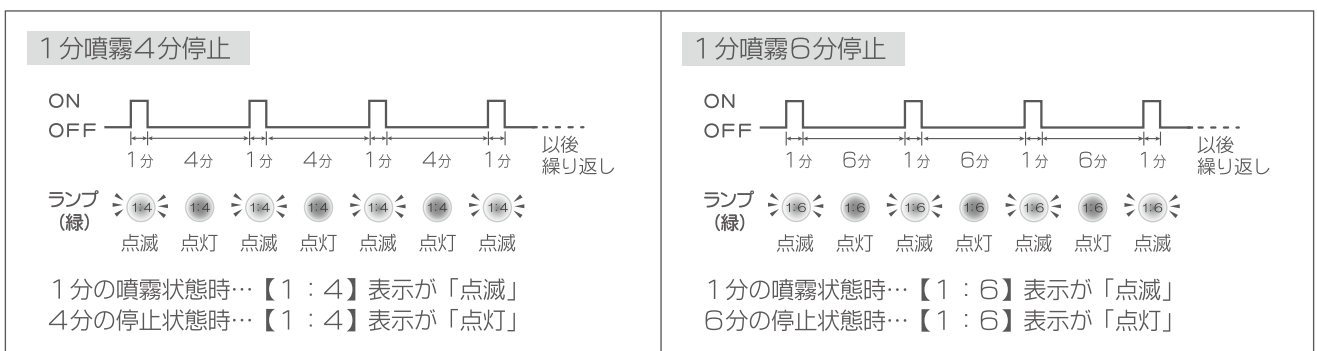
3 間欠運転モードを設定する

- 「間欠運転スイッチ【】」に触れるたびに間欠運転が3段階で変化します。
- 設定しているモードのランプ（緑）が点灯・点滅します。



連続運転 常に噴霧状態を継続します。

間欠運転モード 1分の噴霧状態と4分/6分の停止状態を繰り返します。



■各設定の霧化量は、10ページの「液体表示量」をご覧ください。

4 運転を止める

- 「電源スイッチ」に触れると電源/給水ランプ（青）が消灯し、電源が切れます。

電源をOFFにして、再度電源をONにした場合、各設定は継続されます。
電源プラグを抜くと設定がリセットされ、次回電源を入れた時は初期状態になります。

長期間使用しない場合は・・・

- 電源プラグを抜き、液体を排出してください。（詳細は8ページの「お手入れと保管」をご覧ください。）

お手入れと保管



警告

■お手入れの際は、必ず電探プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。

排水のしかた

- 電源プラグを抜き、液体タンクを本体からはずす

本体を図の方向に傾けて排水する



注意

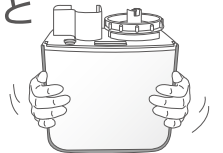
- 必ず排水方向へ排水してください。
排水方向を誤ると、水濡れ・火災・感電・ショートの原因になります。

液体タンク・吹出口（給水時に）

- 吹出口をはずし、液体タンク内に残っている液体を捨てる

液体タンク内に少量の水道水を入れ、タンクキャップを閉めてよく振り洗いしたあと排水する *2~3回繰り返す

- 吹出口の汚れを水洗いした後、柔らかい布でふき取る

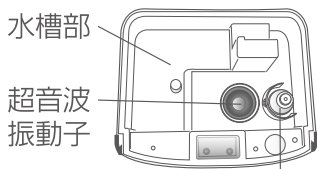


液体タンクに衝撃を加えると、破損して液体漏れの原因になります。液体タンクのお取り扱いには十分に注意してください。

水槽部・霧化部・フロートなど（1週間に1~2回以上）

■霧化部（振動子）

- 振動子の表面に付着した汚れを柔らかい布でふき取る



フロート

■水槽部

- 水槽の内側に付着した汚れを水に浸した柔らかい布でふき取る

お願い

- 振動子の表面を金属（ブラシ・ヘラ）、研磨剤入りのタワシやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。
*変形したり傷がつくと、霧の発生が弱くなったり故障の原因になります。

■フロート

- フロートの周りにゴミなどが入っていないか確認し、ある時は取り除いてください。

柔らかい布で汚れをふき取る

吸気口のお手入れ（1ヶ月に2回以上）

- 本体底面の吸気口に掃除機のノズルを当ててホコリを吸い取る

お願い

- ★吸気口にホコリがたまると、本体内部の部品が発熱し、故障の原因になります。
こまめにホコリを取り除いてください。

本体外側

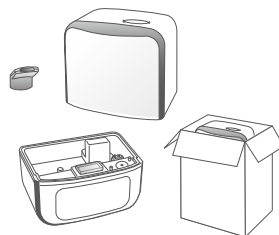
水を浸した柔らかい布で汚れをふき取る

注意

- 本体の丸洗いはしないでください。
感電や故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・ベンゾール・ミガキ粉・タワシなどを使用しないでください。
変質、変色の原因になります。

保管のしかた

- お手入れをした後、水をよくふき取り、液体タンクや本体をかげ干ししてください。
- 液体タンクや本体内に液の残りがいないか確認してください。
- 液体タンクや本体を組み立て、もとの梱包箱に入れて湿気の少ないところで保管してください。



- ★長期保管後に使用を開始する時は、早めの動作点検をおすすめします。

注意

湿ったまま保管すると、次亜塩素酸成分が蒸発し、本体内部の基板にサビが発生して故障の原因になります。

MX200_MANU-P8_V1.1

故障かな！？

まず、次の確認をしてください。

それでも症状が改善しなかったり、頻発する、または下記以外の症状の場合は機器の故障が考えられます。

本書の「保証とアフターサービス」(11ページ)、保証書(別紙)をよくお読みの上、お買い上げいただきました販売店へご連絡ください。



こんなときは	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがしっかりコンセントにささっていますか？ 電源プラグをさし直し、電源スイッチを入れてください。 ●コンセントに電気が来ていますか？
霧が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水ランプ(赤)が点滅していませんか？(P.5) 液体タンクに液体を補充し、本体にセットしてください。 ●間欠運転モードの停止中(霧化量表示：点灯)ではありませんか？ 「間欠運転モード」の設定をご確認ください。 「1:4」「1:6」が設定されていて「間欠運転ランプ(緑)」が点灯している場合は間欠運転停止中です。噴霧中は「点滅」します。 ●本体内部で霧は発生していますか？ 本体上部の吹出口をはずして内部をのぞいてみてください。 ■本体水槽部に霧がたまっている場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★このような時は、一度本体水槽部の液体を、すべて他の容器に排水してから、再度タンクをセットしてください。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>△注意 感電防止のため電源プラグを抜いてから排水してください。</p> </div> <p>→本体水槽部の水位が高くなって風の出口がふさがっている状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設置場所の振動、液体が入ったままの本体移動、何度もタンクを抜き差しした場合、またはタンク内の空気が膨張するなどが原因で、水槽部の適正位置より高くなり、霧が出なくなってしまうことがあります。 (故障ではありません) 温風や直射日光が当たる場所では、タンク内の空気が温まって膨張し、本体水槽部に余計に液体を供給してしまうことがありますので、設置場所を変えてください。 ●タンクキャップをしっかり締めていない、またはキャップのパッキンがはずれていることなども原因になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【超音波振動子の寿命について】</p> <p>超音波振動子は消耗品です。常温使用時で約3,000~5,000時間を目安に交換を推奨しておりますが、使用状況によっては寿命が短くなる場合があります。 超音波振動子の寿命が近づき、霧化量が減少してきた場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p> <p>※お客様にて部品の交換はできません。お買い上げの販売店にご連絡いただき、当社お客様サービスセンターにて交換いたします。</p> </div>
水漏れする	<ul style="list-style-type: none"> ●本体を傾けたり、倒したりしていませんか？ ●液体が入ったまま本体を移動していませんか？ ●タンクキャップはしっかり締まっていますか？ 締まりが緩すぎると液体過供給の原因になります。
本体のニオイが気になる	<ul style="list-style-type: none"> ●液体タンク内の液体は古くなっていませんか？ 液体タンク内、本体水槽部をこまめにお手入れし、新しい液体を使用してください。

仕様

機器名称	超音波噴霧器
型式	MX-200
霧化ユニット数	ACSP2.0 1個
振動子駆動周波数	1.6MHz ±50KHz
振動子耐薬品処理	耐塩素特殊ガラスコーティング
霧化量	約300cc/h (水温・周囲温度25℃時) [新品時]
適用床面積	～約14畳 (条件により増減する可能性があります) ※適用床面積：除菌消臭成分の行き渡る面積
動作音	35db以下
設置方式	据置型
吹出口 (霧出口)	水平方向360° 方向調整可能 (着脱式)
給水方法	タンク式 容量4.0L (タンク未装着時運転防止機能付)
使用液体	次亜塩素酸水 (HClO: 80ppm以下/pH5.5～7.5) ※当社認定品のみ使用可能
給水水温	5～30℃
許容周囲温度	5～35℃ (ただし凍結・結露なきこと)
許容周囲湿度	80%RH以下 (ただし結露なきこと)
定格電圧	AC100V (50/60Hz)
許容電圧範囲	定格の90～110%
消費電力	25W
重量	乾燥時 約2kg / 満水時 約6kg
外形寸法	215(W)×290[327](H)×175(D)mm ※[]内は吹出口装着時
電源コード	2Pプラグ付きコード 1.9m
その他の機能	液切れ空だき防止機能/間欠運転モード(1/4、1/6、連続)/LED照明(青)付
加湿能力	プレハブ洋室 約6畳 (10㎡) / 木造和室 約4畳 (7㎡) (日本電機工業会規格JEM1426に基づき、20℃・30%時の能力を表示)

■各設定の1時間当たりの液体消費量

霧化量	運転モード	連続運転	1分運転/4分停止	1分運転/6分停止
○	小	約100～200cc	約20～40cc	約14～28cc
○○	中	約200～300cc	約40～60cc	約28～42cc
○○○	大	約300～350cc	約60～70cc	約42～50cc

※上記の液体消費量は概ねの目安です。使用環境 (室温・湿度・水温・水質・室内環境・電源電圧・製品個体差等の複合要素) によっては数値が大幅に変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※風量の調節はできません。

▲ 超音波振動子は消耗品です

超音波振動子は、使用していると徐々に霧化量が減少していき、交換時期には初期値の半分以下になります。本機の能力を最高に保つためにも、超音波振動子の定期的な交換をおすすめいたします。


MX200_MANU-P10_V1.1

■修理・使いかた・お手入れ などのお問い合わせは・・・

お買い上げ先（販売店）へ ご相談ください。

【お客様メモ】ご購入時にご記入ください

販売店名				電話（ ）	—
お買い上げ日	年	月	日	使用液体名	

製品保証期間 本体お買い上げ日より 8日間 （お買い上げ日を含む）	製品保証とは？ 本体お買い上げ日より8日間以内に、以下の状態が発生し、ご連絡いただいた場合に無償交換いたします。 ■初期不良発生（納品直後の動作確認時に不良があった場合） ■正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態）で故障した場合	
--	---	---

製品不良が発生した時は・・・

「故障かな!？」（取扱説明書9ページ）をご確認後、症状が改善しなかったり頻発するときは、お買い上げいただきました販売店までご連絡ください。

※お電話で解決できることもありますので、故障の状況（症状・使用環境・使用頻度など）を具体的にリペアリクエスト（修理依頼書）にご記入いただき、内容を整理の上ご連絡ください。


■リペアリクエストに症状を記入
 ■以下項目を販売店にご連絡ください

製品名	超音波噴霧器
型式	MX-200
故障の状況	できるだけ具体的に （症状・使用環境・使用頻度など）

お電話で解決できなかった場合は・・・

1. リペアリクエスト（修理依頼書）を必ずご記入ください。（製品名・型式・症状）
2. 販売店へご連絡ください。詳細を販売店よりご案内いたします。（症状等、リペアリクエストの内容）

修理について	保証期間終了後の故障について
星光技研お客様サービスセンターにて診断をし、修理して使用できる場合は、修理見積りをいたします。お見積り内容・金額をご連絡いたしますのでご確認のうえ修理を実行するかご判断ください。	
修理料金構成	■技術料：診断・修理・調整・点検などの費用 ■部品代：部品および補助材料代 ■返送料
送料について	【初期不良時】弊社にて負担いたします。 「福山通運 又は 佐川急便 着払」でお送りください。 【修理依頼時】お客様にてご負担をお願いいたします。
補修用性能部品について	補修用性能部品の保有期間は、製造終了後5年間となります。期間内であっても部品の確保等が困難になった場合は、修理できない場合がございます。あらかじめご了承ください。
部品について	修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★修理依頼時には「販売証明書※」が必要です。保証期間が過ぎても必ず保管し、修理品に同梱してください。※「品質保証書兼販売証明書」 ★初期不良品および修理品輸送時は、製品が破損しないようしっかり梱包の上ご送付ください。 ★販売店へのご連絡がない場合は、初期不良交換/修理受付できかねますので、必ずご連絡ください。	



【液体について】のお問い合わせ先

ご使用いただいている液体の詳細につきましては
お買い上げ先（販売店）まで
 お問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

※星光技研お客様サービスセンターではわかりかねますのでご了承ください。

星光技研 お客様サービスセンター

TEL 026-243-4055 / FAX 026-244-3455

【受付時間】 9:00~17:00
 月~金（祝日を除く）

SEIKO GIKEN INC.
 株式会社 **星光技研**

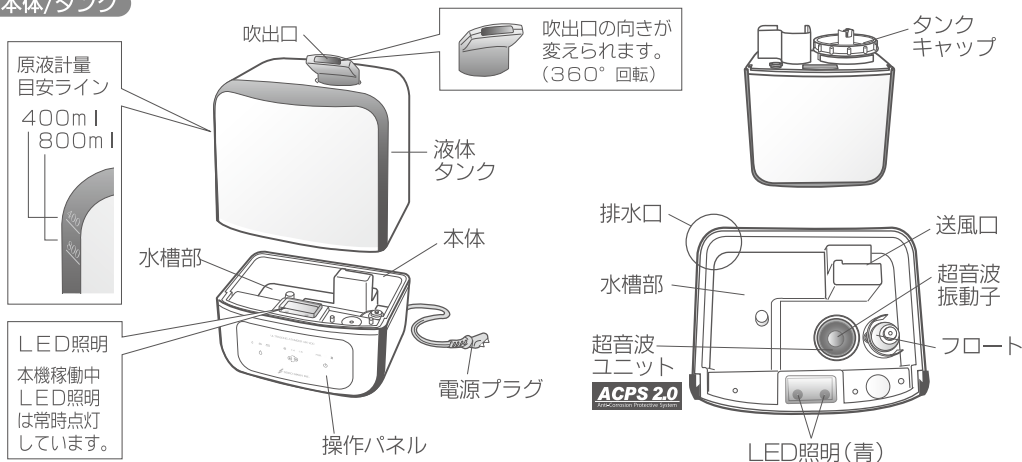
都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。[URL] <http://www.seiko-giken.jp>

〒381-0012 長野県長野市柳原1573

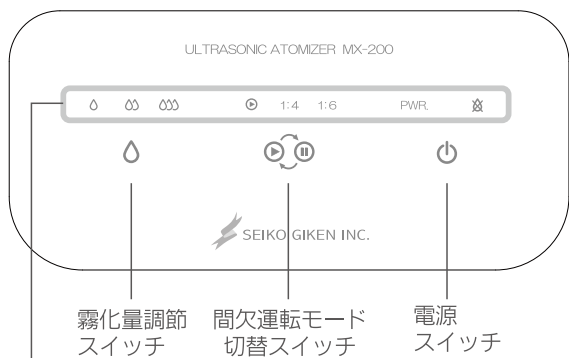
このたびは【超音波噴霧器MX-200】をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用いただく前に、この「かんたんガイド」および取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見ることができるよう、大切にお手元に保管してください。

各部の名前

本体/タンク



操作パネル タッチパネル式



■ランプ
選択されたモードのランプが点灯します

霧化量ランプ (緑)		間欠運転モードランプ (緑)		電源・給水ランプ
☾	霧化量「小」	▶	連続運転	PWR. ☒
☽	霧化量「中」	1:4	間欠運転 1分噴霧 4分休止	PWR.と☒の間が点灯します 電源ON : 点灯 (青) 電源OFF : 消灯 給水表示 : 点滅 (赤)
☼	霧化量「大」	1:6	間欠運転 1分噴霧 6分休止	

超音波ユニット ACPS 2.0
腐食対策超音波ユニットを採用しています。

⚠ 超音波振動子は消耗品です

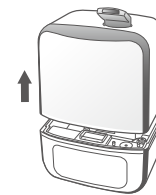
超音波振動子は、使用していると徐々に霧化量が減少していき、交換時期には初期値の半分以下になります。本機的能力を最高に保つためにも、超音波振動子の定期的な交換をおすすめいたします。

使いかた

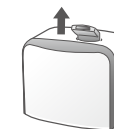
タンクに液体を入れる

1 本体から液体タンクをはずす

- 水槽に液が入っている時は液体タンクの下に付着した液体がこぼれることがあります。タオルなどを敷いて周辺をぬらさないように注意してください。



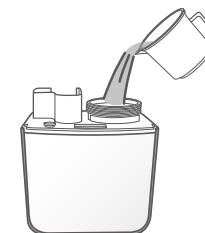
2 液体タンクから吹出口をはずす



3 タンクキャップをはずし、タンクに液体を入れる

- 液体の使用方法は液体の説明書をご覧ください。
- 本体や液体タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水 (30℃以上) などを入れないでください。
- 指定以外の液体を入れないでください。液体の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因になることがあります。また、指定外の液体は健康を害する恐れがあります。
- 液体タンクをぶつかけたり、落としたりしないでください。液体タンクの破損により、水漏れの原因になります。
- 液体タンク内の液体は毎週交換して、常に清潔にご使用ください。

満水で約4L入ります



次亜塩素酸水の液体濃度

⚠ 使用濃度をお守りください

【濃度】80ppm 以下
【pH】5.5 ~ 7.5
使用濃度をお守りいただけない場合は、製品保証ができないばかりか、修理をお受けできない場合があります。必ず範囲内の濃度でご使用ください。

希釈が必要な液体をご使用の場合は…

【液体投入順序】

- ① 次亜塩素酸水(原液)
- ② 水道水

※①②の順番でタンクに入れ、よく混ぜ合わせてください。

⚠ ご注意 必ず「液体タンクに給水」をして、ご使用ください。

本体や吹出口に直接液体を入れないでください。本体内部に液体が入り、故障の原因になることがあります。



電源/給水ランプが点灯

<空炊き防止機能作動>

- タンク内の液体がないとき
- タンクがないとき
- タンクが正しくセットされていないとき

噴霧を自動で停止します。ブザーがら回鳴り、給水ランプ (赤) が点滅します。




- 液体を補充する
- タンクを正しくセットする

給水ランプ (赤) 点滅が (青) 点灯に変わり、噴霧を再開します。

⚠ 当社認定液体以外を使用しない【製品保証が受けられません】


本機は当社が認定した液体でのみ使用可能です。認定液体以外を供給すると、液体によっては機器が壊れたり、人体、動物、植物、品物等に悪影響を及ぼす場合があります。最悪の場合は健康を害する場合がありますので、絶対におやめください。

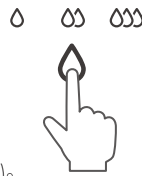
1 運転を始める

- 電源プラグを差し込む。
- 「電源スイッチ【】」に触れると電源が入り、【】【】ランプとLED照明（青）が点灯し、噴霧が始まります。 ■初期状態は「大」です。




2 霧化量を調節する

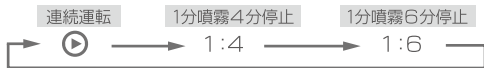
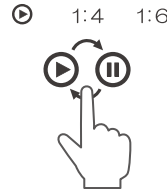
- 「霧化量調整スイッチ【】」に触れるたびに、霧化量が3段階で変化します。
- 設定している霧化量にランプ（緑）が点灯します。



霧化量は概ねの目安です。使用環境（室温・湿度・水温・水質・室内環境・電源電圧・製品個体差等の複合要素）によっては数値が大幅に変わる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3 間欠運転モードを設定する

- 「間欠運転スイッチ【】」に触れるたびに間欠運転が3段階で変化します。
- 設定しているモードのランプ（緑）が点灯・点滅します。



連続運転 常に噴霧状態を継続します。

間欠運転モード 1分の噴霧状態と4分/6分の停止状態を繰り返します。

1分噴霧4分停止

1分の噴霧状態時…【1:4】表示が「点滅」
4分の停止状態時…【1:4】表示が「点灯」

ランプ（緑）
点滅 点灯 点滅 点灯 点滅 点灯 点滅 点灯

1分噴霧6分停止

1分の噴霧状態時…【1:6】表示が「点滅」
6分の停止状態時…【1:6】表示が「点灯」

ランプ（緑）
点滅 点灯 点滅 点灯 点滅 点灯 点滅 点灯

■各設定の霧化量は、10ページの「液体表示量」をご覧ください。

4 運転を止める

- 「電源スイッチ」に触れると電源/給水ランプ（青）が消灯し、電源が切れます。

電源をOFFにして、再度電源をONにした場合、各設定は継続されます。
電源プラグを抜くと設定がリセットされ、次回電源を入れた時は初期状態になります。

長期間使用しない場合は・・・

- 電源プラグを抜き、液体を排出してください。
（詳細は取扱説明書8ページの「お手入れと保管」をご覧ください。）

おすすめ!

給水・お手入れをする方の
胸の高さ程度

★扇風機やサーキュレーターを使用し霧を遠くに飛ばすと一層効果的です。

※本製品の故障または使用による家財等の損害については、弊社はその責を一切負いかねますので予めご了承願います。

お手入れと保管

警告

■お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。

吸気口のお手入れ（1ヶ月に2回以上）

●本体底面の吸気口に掃除機のノズルをあてホコリを吸い取る

お願い

★吸気口にホコリがたまると、本体内部の部品が発熱し、故障の原因になります。こまめにホコリを取り除いてください。

排水のしかた

●電源プラグを抜き、液体タンクを本体からはずす
このカドから排水方向

本体を図の方向に傾けて排水する

※操作パネル・電源コードをぬらさないでください。

注意

■必ず排水方向へ排水してください。
排水方向を誤ると、水濡れ・火災・感電・ショートの原因になります。

水槽部・霧化部・フロートなど（1週間に1～2回以上）

■霧化部（振動子）

●振動子の表面に付着した汚れを柔らかい布でふき取る

■水槽部

●水槽の内側に付着した汚れを水を浸した柔らかい布でふき取る

■フロート

●フロートの周りにゴミなどが入っていないか確認し、ある時は取り除いてください。
柔らかい布で汚れをふき取る

お願い

●振動子の表面を金属（ブラシ・ヘラ）、研磨剤入りのタワシやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。
※変形したり傷がつくと、霧の発生が弱くなったり故障の原因になります。